



# ペンギン 入試レポート 2019年1月号

「ペンギン入試レポート1月号(千葉県公立高校入試版)」では、2019年度入試の前期選抜・後期選抜の学力検査の出題傾向と対策を掲載しました。分析をもとに、入試までに準備しておくことをまとめていますので、学習の参考にしてください。

臨海セミナーでは、志望校合格という15歳の一つの大きな夢の実現に向けて、職員一同できる限りの応援をさせていただきます。「情熱なき講師は去れ」「わかるまで教える、それが臨海」という方針のもと精一杯の指導をさせていただきます。入試に向けてご質問、ご相談などございましたら、お通りの教室までご連絡ください。

## ◆千葉県公立高校入試日程

### 前期選抜及び通信制の課程の一般入学者選抜の日程

入学願書等提出期間	2019年 2月 1日(金)・ 4日(月)
学力検査等の期日	2019年 2月12日(火)・13日(水) ※通信制の課程の二期入学者選抜の検査は2月13日(水)のみ実施
選抜結果の発表	2019年 2月19日(火)
入学確約書提出期間	2019年 2月19日(火)・20日(水)
入学許可候補者発表の期日	後期選抜とあわせて発表

### 後期選抜及び通信制の課程の二期入学者選抜の日程

入学願書等提出期間	2019年 2月22日(金)
志願又は希望の変更受付期間	2019年 2月25日(月)・26日(火)
学力検査等の期日	2019年 2月28日(木)
入学許可候補者発表の期日	2019年 3月 6日(水)

## ◆千葉県公立高校入試平均点(過去5年間)

		国語	数学	英語	社会	理科	5教科
2018年度	前期	63.2	58.5	59.7	52.9	60.0	294.3
	後期	55.7	62.0	49.7	56.0	67.5	290.9
2017年度	前期	60.8	51.4	53.7	53.8	56.4	276.1
	後期	67.2	58.8	57.7	61.6	61.6	306.9
2016年度	前期	57.0	47.4	50.3	56.6	46.3	257.5
	後期	56.7	57.9	60.9	62.1	51.0	288.7
2015年度	前期	48.5	46.9	55.9	58.1	57.1	266.5
	後期	55.9	57.1	54.5	64.2	62.4	294.2
2014年度	前期	52.3	52.6	54.2	48.8	43.9	251.9
	後期	57.6	52.8	55.5	60.0	54.8	280.7

# 千葉 前期選抜 英語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

問1～問4はリスニング問題。問1～3については例年通り、英語の放送を聞き、正しい応答文や内容について記号で答える問題でした。問4では、聞き取った英文をもとに、与えられた英文の空所に入る単語を答える問題が今年も出題されました。答える単語は難しくありませんが、放送された英文の要約文を完成させる問題だったため、放送文を理解した上で答える必要があり、難度はやや高めです。

問5は語形変化・語順整序の問題。語形変化の問題は、不規則動詞を過去分詞にしたり代名詞を所有代名詞に変化させたりする、従来どおりの問題でした。語順整序の問題は、今年も後置修飾を含む文を完成させる問題が出題されました。教科書に掲載されている表現や文法はしっかりマスターしておきましょう。

問6は条件英作文問題。絵に描かれている状況と人物のせりふに合わせて20語程度で応答文を書きます。文法・単語のミスがないように英文を作ることが求められます。

問7は短い文章やポスターの読解問題。それぞれの内容に関して、記号選択問題だけではなく、英文を完成させる問題や英問英答問題も出題されました。内容を理解する力だけでなく、正しく英語で表現する力も必要です。

問8はグラフを含んだ読解問題。昨年に続き、グラフと英文を照らし合わせて答える問題が出題されました。また、与えられた英文を文章中の正しい位置に入れる問題や文章中の空所に入る単語を答える問題が出題され、文章の流れを正しく理解しているかどうかが問われました。

問9は会話文中の空欄に当てはまる文を選択する問題です。教科書に掲載されているレベルの単語や表現で書かれているので、会話の流れが理解できれば解答できる問題でした。

## 入試までに準備しておくこと

出題形式に細かい変化はありますが、過去問や似た形式の問題を解くことが有効です。また、対話文や長文など多量の英文を速く正確に読む必要があるため、日頃から英語の文章に多く触れるようにしましょう。リスニング問題は、英語を聞き取る練習を継続的に行う必要があります。過去問や英検3級程度の問題で練習するとよいでしょう。単語はただ覚えるだけでなく、関連する単語も合わせて覚えておく必要があります。語順整序や語形変化の問題では、基本的な知識が問われるので、偏りなく復習することで点数を上げることができます。条件英作文問題では、教科書内容レベルの単語・表現・文法を活用して英文を書く練習をするのが効果的です。間違えやすいポイントをチェックしながら作文の練習をすると、点数アップにつながります。

英語 分野別出題形式		30年度	29年度	28年度
リスニング	記号 内容理解	21	21	21
	記述 英問英答			
	和問和答			
	語彙	12	12	
小計		33	33	21
語彙	綴り			12
	語形変化	6	6	6
	発音・アクセント			
小計		6	6	18
文法	記号 適語(句)選択			
	適語(句)補充			
	語順整序	9	9	9
	記述 部分英作文			
	完全英作文			
小計		9	9	9
読解	記号 内容理解(含英問英答)	3	9	
	内容一致	9	6	9
	段落・文整序			
	段落・文・節挿入	3		
	適語(句)・文選択	18	18	21
	語順整序			
記述	内容理解(指示語など)			
	語形変化			
	空所補充	7	6	6
	和文英訳			
	部分英作文		5	
	英問英答	4		8
条件英作文	8	8	8	
和問和答				
小計		52	52	52
合計点		100	100	100

# 千葉 前期選抜 国語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

昨年は大問 8 題、小問 32 題でしたが、今年は大問 8 題、小問 33 題でした。

問一は聞き取り問題。今年は記念式典に向けて作った詩を朗読する人と、その友人が会話をする場面を聞いて答える設問でした。昨年に引き続き、今年も記述問題が二問出されました。

問二、問三は漢字で、書きは小学校、読みは中学生までの学習範囲からの出題です。

問四は文法・語句の知識を問う設問。28 年度と同様の、謙譲語を書く問題が出されました。

問五は論説文。昨年と同様、傍線部の説明を問う設問や空所を補充する設問が目立ちます。(4)の記述問題は、本文中から答えのヒントとなる表現を見つけ、自分の言葉でまとめる力が必要だったので、難しく感じた受験生が多かったと思われます。

問六は小説文。(5)の選択問題は、内容をよく理解し、選択肢の間違っているところを見つける必要があります。

問七は古文。例年通り、傍線部の内容や理由を問う設問が目立ちます。(4)の記述問題は、傍線部の後の内容を読み、どの部分があてはまるかを考えられたかどうかポイントです。

問八は作文。資料を分析し、そこから自分の考えを書くという形式は例年通りでした。二つのポスターの違いを言葉で説明する必要があります。

## 入試までに準備しておくこと

漢字は、小中学校の範囲の全ての読み書きができるか確認をしておきましょう。論説文は段落ごとの要旨をつかみながら読み進める練習を、小説文は登場人物の心情の変化やその理由を正確に読み取る練習をしましょう。論説文・小説文とも記号選択だけではなく、書き抜きや記述も多く出題されます。多くの問題に触れることで慣れていく必要があります。古文は、登場人物を把握し、誰が何をしたのか、その行動の理由などを読み取る練習を数多く積み、仮名遣いなどの表現についても、繰り返し問題を解いておくようにしましょう。聞き取り問題は、英語と同様に聞き取りの練習を継続的に行うことが大切です。過去問などで練習するとよいでしょう。また、千葉県では文法・表現の出題が多いです。文法事項、語句の知識に加え、敬語の使い方、書き言葉と話し言葉、熟語の成り立ち、ことわざ・慣用句などを幅広く学習し、日ごろから語彙を増やすよう心がけましょう。

国語 出題分野一覧表		30年度		29年度		28年度	
		記号	記述	記号	記述	記号	記述
聞き取り	放送の内容を問う設問	7	3	6	4	10	
	放送を基にした作文						
漢字	漢字の読み取り		8		8		8
	漢字の書き取り		10		10		10
文法・語彙・表現		4	2	6	2	4	2
敬語			2				2
論説	傍線部の理由を問う設問						3
	傍線部の説明を問う設問	3	11		10	6	4
	空所を補充する設問		3	3	3		3
	段落関係を問う設問						
本文の内容を問う設問		3		4		4	
小説	心情を問う設問	6	4	7	6	6	9
	空所を補充する設問	4	3	3			
	場面を問う設問					3	
	本文の内容を問う設問	3		4			
語句や表現を問う設問			2	2	2	2	2
指示語を問う設問							
主語を問う設問							
古典 (古文・漢文)	傍線部の理由を問う設問				4		
	傍線部の説明を問う設問	3	4		2	2	4
	空所を補充する設問		3	2			
本文の内容を問う設問						4	
作文			12		12		12
合計		100		100		100	

# 千葉 前期選抜 数学 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

出題構成は大問 5 題で、問 1 と問 2 は計算・小問集合で 55 点、問 3 から問 5 はそれぞれ 15 点ずつの配点と、例年通りでした。

問 1 は計算問題。内容は正負の数、文字式、連立方程式、平方根、因数分解から計 6 題。問 2 は小問集合。反比例、資料の活用、立体の体積、確率、作図の 5 題。作図の問題は、正方形の性質を十分に理解しているかが試されました。

問 3 は関数のグラフの問題で、(2)②では台形と平行四辺形の面積の比について問われました。関数の知識だけでなく、図形の性質を利用することで解き進めやすくなるものでした。

問 4 は平面図形。(1)は二等辺三角形であることを証明する問題、(2)は(1)で示した二等辺三角形の性質や相似を利用して線分の長さを求める問題でした。解く過程で円周角の定理の逆、三平方の定理などの知識・技能も試された良問でした。

問 5 は、規則性を利用した問題。ここ数年続いている、柔軟な思考力が試される傾向は変わらず、場合分けをして考えることや工夫して数えることが必要でした。同傾向の問題を解いた経験の有無で差がついたと思います。

## 入試までに準備しておくこと

まずは問 1、2 の基本問題で確実に得点できるよう、教科書や過去問を中心に十分な練習をしておきましょう。作図の問題は中 1 で習った作図法だけでなく、中 1～3 で習った図形の性質を組み合わせたものも練習しておくといでしょう。問 3 以降は、解答を導き出すまでにどの知識やどんな技能を利用するかを十分に考えさせる難度の高い問題が多く出題されています。また、図形の性質を利用した問題も多く出題されているので、相似、三平方の定理、特別な図形の性質をしっかりと理解し、全国の入試問題などを解いて練習をしておきましょう。問 5 でここ数年続いている規則性に関する問題についても、いろいろなタイプの問題を経験しておくことが重要です。

領域	内容	配点		
		30年度	29年度	28年度
数と式	数の性質・表現			
	数の計算	10	10	10
	文字と式、計算	5	10	5
	平方根	5	5	5
	多項式の乗法			
	因数分解	5		5
	小計	25	25	25
方程式	1次方程式			5
	連立方程式	5		
	2次方程式		5	
	方程式の応用		5	5
	不等式・不等式の応用			
小計	5	10	10	
関数	比例と反比例	5		
	1次関数			5
	2次関数		5	
	変化の割合・変域			
関数と図形	直線と曲線	5		
	関数と図形	10	10	10
小計	20	15	15	
三角形・四角形	角度			
	作図	5	5	5
	合同の証明	10	10	
	相似			10
	三角形			
	平行四辺形			
円と平面図形	円周角の定理			
	円と弧・弦・接線			
	線分、線分比	5	5	
	面積、面積比			5
	点の移動と図形			
空間図形	線分、線分比			
	面積、面積比			
	体積、体積比	5		
	点の移動と図形			
	回転体、球		5	5
小計	25	25	25	
確率・統計	場合の数			
	確率	5	5	5
	資料の整理	5	5	5
	標本調査			
総合問題	数と式	15	15	15
	図形			
その他				
小計		25	25	25
合計		100	100	100

# 千葉 前期選抜 理科 出題傾向と対策

# 千葉 前期選抜 社会 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

大問 9 つで物理、化学、生物、地学の各分野 25 点ずつの配点は例年通りでした。

大問 1 は、4 つの各分野から 1 題ずつの小問集合で、内容はどれも基本事項となっています。

大問 2 以降は、半円ガラスを用いた光の屈折、生物の体と細胞、火山の形とマグマの性質、物質の溶解度、生物のつながり、力の合成と分解、電池、天気の変化と、さまざまな県の入試でも頻繁に扱われる実験や観察にもとづくもので、入試に向けた演習では何度も目にしてきた内容だと思えます。また、例年に比べて問われる内容は平易になったことも特徴です。ただ、地盤の液状化や火砕流、一次電池と二次電池など非常に細かな内容まで踏み込んだ知識が問われ、受験生も驚かされたのではないのでしょうか。

大問 7 では、力の合成と分解、力のつり合いを用いた難度の高い出題もありました。斜面に平行な分力をどのように表すか、計算式の処理の仕方で差がついたと思われます。特に計算は、出題された形式での処理経験がないと、正解の数値を求めるのに時間がかかったと思えます。

## 入試までに準備しておくこと

出題内容、難度ともに中学校の定期テストと同程度の問題ばかりでした。ただし、大問数が多く、幅広い知識が必要とされます。さらに、普段問題を解く上では気にしていなかったような細かな知識や用語までしっかりおさえておく必要もあります。教科書のすみま、定期テストに向けた準備の際に覚えるくせをつけてください。

昨年に続き、一部の問題を除きとても解き易くなっています。その分、受験生にとってはミスの許されない科目となりつつあります。中 3 の夏からの準備ではなく、もっと早い時期から学習内容の確かな定着をはかっていく必要があります。また、ここ 2 年間は知識の習得のみで十分に対応はできる出題になっていますが、実験・観察の記録を通じて、思考力や判断力を問う問題が増える可能性はあると思えます。

入試に向けて、基本知識の定着後は、実験や観察をもとにした問題を多く選んで演習すると良いでしょう。特に原理や理由を説明する問題を選んで扱うようにしてください。

分野	30年度		29年度		28年度		
	出題内容	配点	出題内容	配点	出題内容	配点	
物理	電磁誘導	3	資源エネルギー	3	音	3	
	光の進み方	10	圧力	2	器具のつなぎ方	3	
	力のつり合い	2	面積と圧力の関係	4	オームの法則	3	
	フックの法則	3	力の合成と分解	4	回路と電流	4	
	力の合成と分解	7	発熱量	3	物体にはたらく浮力	8	
			電力と温度の上昇	6	仕事の大きさ	2	
			回路の特徴と電流	3	水圧と深さ	2	
小計		25		25		25	
化学	原子のつくりとイオン	3	空気の組成	3	有機物・無機物	3	
	物質の溶解度	8	酸化銅の還元	5	物質の溶解度	7	
	実験操作	2	気体の性質	3	質量パーセント濃度	3	
	気体の発生	3	実験結果のまとめ	4	電流の向きと電子	2	
	電池	3	電解質	4	電池と電極での変化	10	
	化学変化・化学反応式	6	中和、水溶液の性質	6			
小計		25		25		25	
生物	植物のつくり	3	植物の分類と特徴	5	植物の分類とつくり	3	
	多細胞生物・単細胞生物	5	植物のはたらき	2	肺のつくり	4	
	細胞のつくりとはたらき	5	実験結果と考察	8	細胞と細胞の呼吸	6	
	生物のはたらき	5	生物の進化と変遷	7	無性生殖	6	
	生物のつながり	7	シソチョウの特徴	3	有性生殖と染色体	6	
小計		25		25		25	
地学	大地の変化	3	流星	3	気団	3	
	火山噴出物	5	大地の変動と土地	4	堆積岩と堆積の仕方	6	
	マグマの性質と火山	5	地震の伝わり	8	地層のつながり	4	
	天気図記号	3	天体の日周運動	5	太陽の南中と季節	5	
	熱の移動	3	太陽の年周運動	5	地球上の太陽の動き	3	
	大気中の水蒸気	6			地軸の傾き・季節	4	
	小計		25		25		25
	合計		100		100		100

## 出題傾向の分析

総小問数は 32 題、大問は 8 題構成で昨年と変化は見られませんでした。

問 1 は各分野からの小問集合です。昨年同様、資料読み取りの問題は選択肢が長く、資料も複数あったことから、解答に必要な情報をすばやく正確に読み取る力が求められました。

問 2・3 は地理からの出題です。問 2(4)①の地形図中の面積を求める問題は戸惑ってしまった受験生が多かったと思われますが、全体の面積から考える工夫をすれば、正答にたどり着けました。また、問 3(3)では第一次世界大戦中にヨーロッパの植民地とならなかったエチオピアの位置を問う、歴史との融合問題も見られました。

問 4・5 は歴史からの出題です。問 4(2)は空欄にあてはまる幕府の機関を考え、その説明を選ぶという 2 つの知識が必要な問題でした。また、問 5(4)では、絵画からその作者を答える問題も出題されました。問 5(5)の並べ替え問題は、4 つの選択肢から 3 つを選び、さらに並べ替えなければならなかったため、難度が高かったと思われます。

問 6～8 は公民からの出題です。介護保険制度や予算の議決における衆議院の優越の手続きについての記述問題、ドント式による議席配分の方法など、単に用語を覚えるだけでは答えることのできない問題もありました。

## 入試までに準備しておくこと

昨年同様、50 分という試験時間で 32 題もの問題を解かなければならないため、すばやく正確に解答していく練習が必要となります。教科書の基本事項をしっかりと習得するだけでなく、地図やグラフなどを読み取る力も入試形式の問題を通じて養っていくとよいでしょう。また、記述問題は例年通り、用語の説明が問われたため、教科書に書かれている説明も覚えるようにしましょう。

全体的に大きな傾向の変化はないため、千葉県公立高校の入試過去問を解いて、傾向に慣れることが必要です。さらに他県の公立高校の入試過去問も解き、さまざまな出題パターンに慣れることで、高得点が期待できるでしょう。

	単元	30年度	29年度	28年度	
世界地理	世界のすがた	緯線・経線	○	○	○
		時差	○		
		大陸・地形		○	○
	気候	気候帯		○	○
		雨温図			
	生活文化	生活			
		文化			
		人口		○	
		宗教			○
		エネルギー			
産業		○	○	○	
各国のようす		○			
日本地理	農林水産業	農業		○	○
		林業			
		水産業			
	商業・工業		○	○	
	都道府県		○	○	
	気候	気候のようす		○	○
		自然		○	
		災害			
		雨温図		○	
	各地の特色		○	○	
地形図		○	○		
その他	交通・通信				
	貿易				
	都市問題				
歴史	原始古代	旧石器・縄文			
		弥生		○	
		古墳			
		飛鳥		○	○
	中世	奈良		○	
		平安		○	
	近世	鎌倉		○	○
		室町		○	○
	近代	安土桃山			
		江戸		○	○
明治			○	○	
現代	大正		○	○	
	昭和(戦前)		○	○	
戦後		○	○		
世界史				○	
公民	現代社会	人権		○	○
		憲法		○	
		選挙			○
		国会		○	
		内閣			
	政治	裁判所			
		三権分立			
		地方自治		○	○
		消費・流通			○
		価格・物価			
経済	生産・企業		○		
	金融			○	
	労働		○		
	社会保障		○	○	
	財政		○	○	
国際社会		○	○	○	
配点	地理	33	34	36	
	歴史	37	34	34	
	公民	30	32	30	

# 千葉 後期選抜 英語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

出題数は、大問が1題増加して7題となり、小問総数は23問でした。今年のリスニング問題は、問1と問2の大問2題の構成でした。問2では会話を聞き取り、与えられたメモの空欄に適する数字や語を書く問題が出題されました。②はMelbourne(メルボルン)という地名を英語で書くものでしたが、会話の中に出てきたつづりを正確に聞き取ることができれば解答できる問題でした。

問3は語順整序問題です。《疑問詞＋名詞》を用いた間接疑問文や関係代名詞を含む文が出題され、語句や文法の正確な知識が要求されました。

問4は条件英作文問題です。今年は「英語と、もうひとつ他の国の言語を学ぶほうがより良い」という意見に対する自分の考えを15語程度で書く問題でした。内容は平易でもよいので、文法やスペルのミスがない英文を作ることが大切です。

問5は英語の広告や短い文章の読解問題です。短い文章の読解問題では英問英答の問題が復活し、読み取った内容を適切な英語で表現できるかが問われました。

問6は長文読解問題です。空所補充や内容一致など総合的な読解力が問われます。今年は文章の内容に合う絵を選択する問題も出題されました。文章から情報を正確に読み取り、それを絵と照らし合わせて解答する必要がありました。

問7は会話文読解問題です。空欄の前後に着目して会話の流れが把握できれば、容易に解答できる内容です。

## 入試までに準備しておくこと

出題形式の細かい変化はありましたが、前期・後期の過去問や似た形式の問題を解くことが有効です。リスニング問題は、日頃から英語を聞き取る練習が必要です。過去問や英検3級程度の問題、他の都道府県の公立高校入試の問題を使って練習することが効果的です。また、単語を学習する際には発音も意識するようにしましょう。語順整序問題では幅広い知識が問われます。教科書に出てきた語句や文法は必ず身につけておきましょう。条件英作文問題は、基本的な語句や文法を使って自分の考えを英語で書く練習をすると効果的です。時制や単数・複数など、ミスしやすいポイントを確認しながら英文を書くようにしましょう。長文や会話文などの読解問題は、英文を速く正確に読まなければなりません。過去問や似た形式の問題を使って、英文を読むことに慣れておきましょう。英文中の指示語や代名詞が指すものを把握しながら読むことも大切です。

英語 分野別出題形式		30年度	29年度	28年度	
リスニング	記号 内容理解	20	20	20	
	記述 英問英答				
	和問和答				
	書き取り	8	8		
小計		28	28	20	
語彙	綴り				
	語形変化			8	
	発音・アクセント				
	小計	0	0	8	
文法	記号 適語(句)選択				
	語順整序	12	12	12	
	記述 部分英作文				
	条件英作文	8	8	8	
	正誤問題・誤文訂正				
小計		20	20	20	
読解	記号	内容理解	8		4
		内容一致	12	4	12
		段落・文整序			
		段落・文・節挿入		4	4
		適語(句)・文選択	16	28	24
	語順整序				
	記述	内容理解(指示語など)	8	16	8
		語形変化			
		空所補充	4		
		和文英訳			
部分英作文					
英問英答	英問英答	4			
	条件英作文				
	和問和答				
	小計	52	52	52	
合計点		100	100	100	

# 千葉 後期選抜 国語 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

出題数は昨年と同様、大問7題、総小問32題でした。問一は聞き取り問題。問題用紙に書かれている情報は、放送の前に目を通しておきましょう。また、今年はマラソンを応援する横断幕に書くキャッチフレーズの特徴を聞き取って記述する問題が出題されました。

問二、問三は漢字の読み・書き。書きは小学校まで、読みは中学校までの学習範囲から出題されています。例年、書きで出題されていた四字熟語が、今年は読みで出題されました。

問四は小説文。登場人物の心情や、傍線部の内容を問う設問が中心となりました。過去3年間出題されていた品詞の分類を問う設問がなくなりました。

問五は論説文。(1)は、助動詞「ような」の識別の問題でした。(3)は、秋の季語を探す設問で、表現技法についての知識が求められました。(6)の記述問題は、筆者の考えをまとめる設問で、文章中の言葉を字数に合うように書きかえる必要がありました。

問六は古文。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改める設問のほか、本文の内容を問う設問が目立ちました。古文は、誰が何をしたのか、なぜそうしたのか、などを順を追って理解することが点数につながります。

問七は作文。友だちとのコミュニケーションがテーマで、例年と書く分量は変わりませんでした。

## 入試までに準備しておくこと

40分の試験時間で30問ほどの設問があるため、設問で問われていることを速く正確に読み取る必要があります。前期・後期の過去問や、似た形式の問題で練習を積み重ねるのが効果的です。漢字は、小中学校で学習したものを全て読み書きできるか確認しましょう。論説文は、段落ごとの要旨をつかみながら読み進める練習をしましょう。小説文は、登場人物の心情の変化やその理由を正確に読み取る練習をしましょう。論説文・小説文ともに、記号選択だけでなく、書き抜き問題や記述問題も多く出題されます。多くの問題に触れ、傍線部の理由や語句の説明などを、根拠を明らかにして記述する練習も必要です。また、文法・表現についての出題もあります。文法・表現の知識はもちろん、四字(三字)熟語、故事成語、ことわざ・慣用句、多義語・対義語・類義語、韻文の表現技法なども幅広く復習しておきましょう。古文は、仮名遣いなどの基礎的な知識の復習はもちろん、登場人物を把握し、行動やその理由などを読み取る練習も必要です。似た形式の問題を数多く解くのがよいでしょう。

国語 出題分野一覧表		30年度		29年度		28年度	
		記号	記述	記号	記述	記号	記述
聞き取り	放送の内容を問う設問	9	3	12		6	6
	放送を基にした作文						
漢字	漢字の読み取り		8		8		8
	漢字の書き取り		10		10		10
文法・表現		3	3	7		3	
敬語							
小説	語句の知識を問う設問						
	心情を問う設問	15		7		7	
	場面を問う設問			3		3	3
	理由を問う設問		5	3			
	本文の内容を問う設問	4		3	4	3	5
論説	語句の知識を問う設問						
	脱文挿入の設問	3					
	傍線部の理由を問う設問					3	
	傍線部の説明を問う設問	3			9	7	9
	空所を補充する設問	3		3		4	
	段落関係を問う設問						
古典(古文・漢文)	本文の内容を問う設問		9	4	4		
	仮名づかいを問う設問		2		2		2
	主語を問う設問			2			
	傍線部の理由を問う設問			3			
	傍線部の説明を問う設問					3	5
	空所を補充する設問						
作文		3	7	3	3	3	
合計			10		10		10
合計		100		100		100	

# 千葉 後期選抜 数学 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

大問4題の構成は昨年と同様でした。

大問1は基本的な計算問題6題で配点は30点と、確実に得点しておきたい部分です。

大問2は、空間図形、関数、確率、作図から5題の出題で、こちらも配点は30点。作図は、昨年と比べると平易なものでした。

大問3は関数とグラフの問題。(3)は四角形の面積を2等分する問題で、(2)で求めた直線の式を利用して図形を変形させることや、面積比から線分比を求めることなど、図形の性質の理解が攻略のカギとなりました。

大問4は平面図形。(1)は三角形の相似の証明。中点連結定理を利用して、平行な直線に気付けるかがポイントでした。(2)は、相似な図形や線分比を利用して面積を求める問題でした。

大問5は除法の商と余りについて考える問題。(1)、(2)、(3)、(4)と順に取り組むことで、段階を踏んで考えることのできる良問でした。

## 入試までに準備しておくこと

大問1, 2は基本問題の小問集合、大問3以降は、関数の利用、証明とそれを利用した面積を求める問題、数の性質という構成でした。高得点獲得には、図形分野の高い技能や論理的に考える力が必要です。

各単元の基本的な内容を徹底するのはもちろんのこと、特に図形分野は問題演習を多く行い、図形の性質を理解した上で作図や関数にも活用できるように準備しましょう。問題文中の条件や仮定から図形の性質を連想する力は、実践的な学習なくしては身につけません。基礎の徹底や問題演習の努力を怠らず、得点する力をつけましょう。

今年もこれまでと同様に幅広い数学的な思考力が試されました。今後の対策として、過去の千葉県の公立高校入試問題だけではなく、全国の高校入試の問題から関数と図形、数と式、方程式の利用など、できるだけ多くのパターンの問題に触れて、慣れておくことが重要となります。

領域	内容	配点		
		30年度	29年度	28年度
数と式	数の性質・表現			
	数の計算	10	10	10
	式の計算	10	5	5
	平方根	5	5	5
	多項式の乗法			
	因数分解		5	
小計		25	25	20
方程式	1次方程式			
	連立方程式			5
	2次方程式	5		5
	方程式の応用			
	不等式・不等式の応用			
小計		5	0	10
関数	比例と反比例			
	1次関数	3	3	
	2次関数	3	3	
	変化の割合・変域	6	6	
関数と図形	直線と曲線			
	関数と図形	4	4	10
小計		16	16	10
三角形 四角形	角度		5	
	作図	6	6	6
	合同	4	4	10
	相似	6	6	
	三角形			
	平行四辺形			
平面図形	円周角の定理			
	円と弧・弦・接線			
	線分、線分比		13	
	面積、面積比	5	4	5
	点の移動と図形			6
	図形の移動		3	
空間図形	線分、線分比			
	面積、面積比			
	体積、体積比		6	6
	立体の見方	6		
	回転体、球	6		
小計		33	47	33
確率	資料の整理		6	6
	確率	6	6	6
総合問題	数と式	15		11
	図形			4
	その他			
小計		21	12	27
合計		100	100	100

# 千葉 後期選抜 理科 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

今年も物理、化学、生物、地学の分野からそれぞれ25点ずつの出題でした。

【物理分野】直流、交流の問題、電力の問題、運動とエネルギー、仕事と仕事率の出題でした。どれも基本的な知識を問う平易なものです。記述や計算もありますが、教科書内容程度でした。

【化学分野】4種の気体を性質の違いを利用して判別する実験がありましたが、気体の性質を理解していれば解き易かった問題といえます。質量比を利用した計算については、実験結果をもとにして解く内容のため、こちらも解答しやすい出題といえます。

【生物分野】植物の断面図からどの植物か判断する問題が出題されました。他の設問も植物のからだのつくりを細かい点まで理解しているかどうかを試されました。また、生物の生殖に関する問題でも、動物の受精と発生についての理解を問う内容となっています。

【地学分野】天体と天気の変化からの出題。天体は例年に比べても平易と感じた受験生も多かったことでしょう。また、天気についても頻出の前線と天気の変化の関係を理解していれば、問題なく解くことができたと思われます。

ここ数年の中で、もっとも解き易い出題内容といってよいでしょう。その分平均点が高くなり、差もつきにくく、1つのミスで大きく順位が変わってしまったのではないのでしょうか。また、受験生の確かな知識を試す問題もいくつかありましたので、基本的内容の学習にも手を抜かないようにする必要があります。

3年間の学習内容から細かな知識を問うものがあるため、復習には十分な時間をとるようにしてください。教科書の隅までしっかり読んで、重要事項を身につけることも大切です。教科書にある語句知識、原理の説明の記述問題もありますので、記述の練習も行ってください。

また、前期入試同様に塾のテキストで知識面を強化するとともに、計算問題を基礎から練習し、十分な知識量、計算技能が身についたかどうかを、テスト形式で試すとよいでしょう。また、実験をもとにした問題に対応するために、教科書やワーク、千葉県の公立高校入試問題だけではなく、他県の入試問題にもチャレンジしてみてください。

分野	30年度		29年度		28年度	
	出題内容	配点	出題内容	配点	出題内容	配点
物理	直流と交流	4	弦の振幅、振動数	8	平均の速さ	3
	回路と電流、電力	3	対照実験	4	力のはたらきと速さ	7
	電力量	6	仕事の原理	3	物体の落下	3
	振り子の運動の様子	3	仕事と仕事率	3	磁界のようす・向き	6
	グラフの読み取り	3	運動と速さ	4	誘導電流の向きの変化	3
	仕事と仕事率	6	力学的エネルギー	3	誘導電流の大きさの変化	3
小計		25		25		25
化学	気体の性質	9	金属の性質	3	実験操作(水上置換)	4
	物質のつくり	3	物質の密度	7	気体の性質・発生	8
	化学変化と熱	3	状態変化と粒子の運動	3	銅の性質	2
	鉄の酸化	3	塩酸の電気分解	3	化学反応式	3
	化学反応式	3	気体の性質 塩素	3	結果のまとめ(グラフ)	4
	化学変化と質量	4	質量パーセント濃度	3	化学変化と質量	4
			3	塩化銅の電気分解		
小計		25		25		25
生物	植物のからだのつくり	6	細胞の観察	6	甲殻類の特徴	3
	仮根のはたらき	4	顕微鏡の使い方	3	無脊椎動物の分類	9
	植物の分類	3	細胞分裂と生物の成長	4	アジサイの花のつくり	3
	脊椎動物の分類	3	体循環と経路	6	実験操作(脱色)	3
	受精と発生	6	動脈と静脈	3	デンプンのゆくえ	3
	減数分裂と染色体	3	分解から排出	3	光合成と呼吸	4
小計		25		25		25
地学	恒星	3	天気図と天気の推測	3	上昇気流と雲	3
	太陽の黒点	3	天気図の記号	4	等圧線・気圧	3
	太陽の運動	6	日本の天気の特徴	3	台風の通過と気象変化	6
	温暖前線の記号	3	海風、陸風	3	衛星	3
	温暖前線、雨の様子	4	示相化石	6	地球、月の公転	4
	寒冷前線の通過	6	示準化石	6	月食の観測	3
				月の満ち欠け	3	
小計		25		25		25
合計		100		100		100

# 千葉 後期選抜 社会 出題傾向と対策

## 出題傾向の分析

問題構成は大問7題、総小問数26題と昨年の後期選抜と同数で、完全解答形式の問題が2題から4題に増加しました。短文記述問題は2題で、用語の説明をさせる傾向は昨年と変わりません。前期選抜よりも試験時間が10分短いため、資料の読解に時間をかけすぎないなどの時間配分に気をつけなければなりません。

問1は千葉県を題材にした小問集合です。(1)のような資料から該当する都道府県を判断するような問題は、わかりやすいものから考えることがポイントです。

問2・3は地理からの出題です。問2(3)のレタスの出荷量が多い県に関する問題、問3(1)のコートジボワールが世界第1位の生産量である作物を答える問題は、農産物の主な産地などを覚えていたかが正誤の分かれ目となりました。

問4・5は歴史からの出題です。問4(2)は、かなり近い年代のできごとの前後を判断しなければならず、問4(3)は4つの選択肢から3つを選んで並べ替えをするといった難しい問題が見られました。また、大問5(4)は大正時代の文学に関する問題です。近代以降の文化や社会経済は正答率が低くなりがちな単元の1つです。

問6・7は公民からの出題です。問6は3問すべてが消費・流通、問7は3問中2問が基本的人権に関する問題で、出題内容に偏りが見られました。

## 入試までに準備しておくこと

設問の構成や出題形式は過去の後期選抜と類似しており、出題傾向は安定していると言えるでしょう。出題数は前期選抜より少ないものの、40分で記述問題を含めてすべての問題を解かなければいけません。そこで、普段から問題演習をする際には時間配分に気をつけ、わからない問題に時間をかけすぎないように意識しておきましょう。前期選抜に向けた対策と同じように、教科書レベルの基礎知識をしっかりと身につけ、資料分析・活用の力をつけるために、地図、グラフ、写真資料なども確認しておくことでよいでしょう。また記述問題は、用語の説明形式が多いことから、単に用語を暗記するだけでなく、その説明まで一緒に覚えることが効果的です。

		単元	30年度	29年度	28年度	
世界地理	世界のすがた	緯線・経線		○	○	
		時差				
		大陸・地形			○	
	気候	気候帯	○	○		
		雨温図			○	
	生活文化	生活		○		
		文化				
		人口				
		宗教				
		エネルギー		○	○	
		産業	○	○	○	
		各国のようす	○			
日本地理	農林水産業	農業	○	○	○	
		林業				
		水産業				
			工業			
			都道府県	○	○	○
	気候	気候のようす				
		自然				
		災害				
			各地の特色	○	○	
			地形図	○	○	○
その他	人口		○			
	交通・通信・貿易					
	都市問題					
歴史	原始古代	旧石器・縄文				
		弥生				
		古墳		○		
	中世	飛鳥			○	
		奈良		○		
		平安	○		○	
	近世	鎌倉		○		
		室町	○	○	○	
	近代	安土桃山				
		江戸	○	○	○	
明治		○	○	○		
現代	大正	○	○	○		
	昭和(戦前)	○	○	○		
		戦後	○	○	○	
		世界史	○			
公民	現代社会					
	政治	人権	○			
		憲法				
		選挙				
		国会		○		
		内閣			○	
	経済	裁判所	○	○	○	
		三権分立		○		
		地方自治		○		
		消費・流通	○	○		
価格・物価			○	○		
国際社会	生産・企業					
	金融					
	労働					
	社会保障			○		
	財政・景気		○			
配点	地理	35	34	34		
	歴史	38	38	39		
	公民	27	28	27		